

# スポーツにおける先制点

先制点と勝敗の関係を調べて

## 要旨

この論文では、スポーツをする上で、先制点の重要性、先制点による勝敗への関係をそれぞれアンケート、各部活動・プロの試合結果での実験により行い、その実験結果をもとに最終的に一番効果的な先制点の時間帯を調べた。最終的な探究では、試合での先制点を取っている時間帯に着目し、結果として先制点は1試合に決まる点数が少ないスポーツで、1試合の中でなるべく早い段階で取ることが、一番効果的だと分かった。

## 序論

先行研究によると坂本一晃さんら関西大学大学院理工学研究科によると、「いい流れと悪い流れは実際に存在しないが、選手の心の支え的なもの」といわれている。

スポーツを観戦していると、解説者やリポーターのコメントの1つに「先制点が大切です」といったものがある。何となく先制点が大切ということはイメージができるが、実際にはどれほど大切なものだろうか。先制点を奪ったとしてもこの後の時間で追いつかれる可能性も大いにあり、逆転されるかもしれない。そして先制点を奪ったとしても「守りに入るとやられる」といったこともよく聞く。そこで私たちはスポーツにおいて先制点がどれだけ大切なのか調査していく。

## 本論

### 調査1

まず先制点を取るとは試合で勝利するために必要かどうかという調査を行った。この調査では、岩倉総合高校3年生、100人を対象に調査を行った。

### 結果

結果から100人中約7割の人が先制点は必要だと考えていることが分かった。理由として、先制点はチームに流れを作る、気持ち的に強気になれるなどという意見があった。一方、先制点が必要ないと答えた約3割の人は、結果は最後まで分からないや先制されても逆転できると思うからという意見があるということが分かった。

## 考察

調査結果から約7割の人が、先制点は勝敗に関わると答え、少なくとも先制点を取るとは、試合を優位に進め、チームにも良い流れをもたらすのではないかと考えた。

しかし、3割の人が答えたように、スポーツではその日のコンディション、各チームの一番強い時間帯などが異なり、先制したチームが気を抜いてしまうなどの可能性もあるので、最後まで戦い抜けば先制点に関わらず勝敗の割合は五分五分でもあるのではないかと思う。

### 調査2

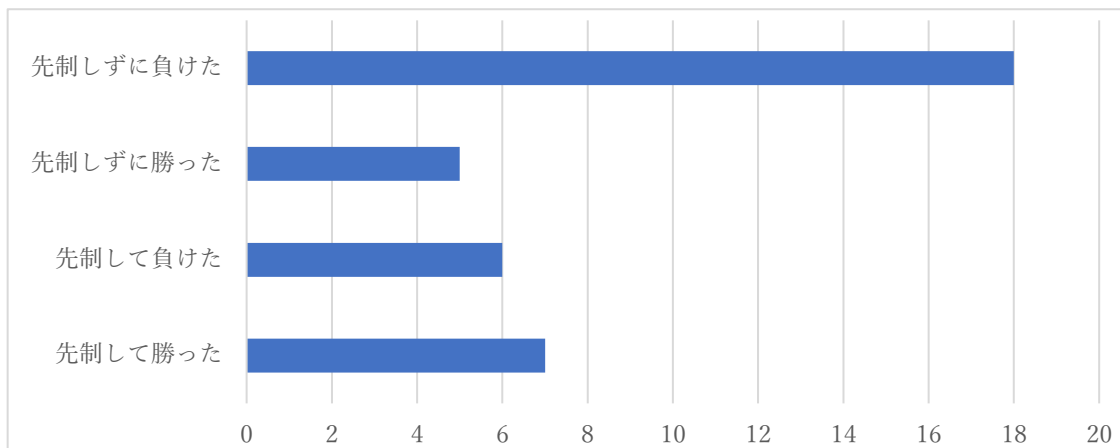
そこから新たに「先制点は勝敗に関わるのか」という実験を岩倉総合高校の男女サッカー部、野球部、テニス部、女子バスケットボール部、プロの試合を対象に実験を行った。

## 結果

部活動の結果で、先制せずに負けた、先制せずに勝った、先制して負けた、先制して勝ったという4項目でアンケートをとった。

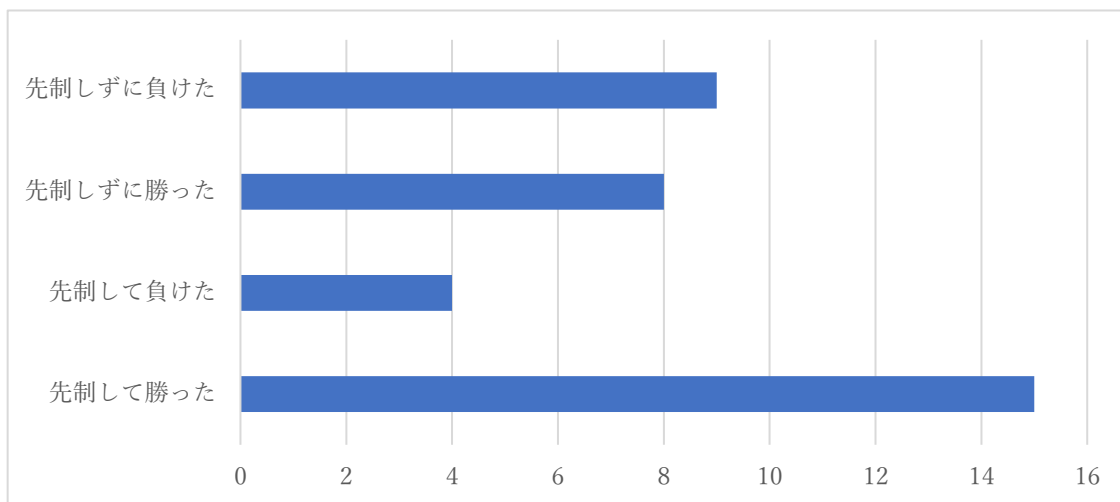
その結果、36試合のうち、先制せずに負けたが18試合、先制せずに勝ったが5試合、先制して負けたが6試合、先制して勝ったが7試合だった。

先制点に関係している先制せずに負けた、先制して勝ったが合わせて36試合中25試合と約7割だった。



プロの結果でも、部活動と同様に36試合の結果を集計し、先制せずに負けたが9試合、先制せずに勝ったが8試合、先制して負けたが4試合、先制して勝ったが15試合だった。

プロの試合で先制点に関係している先制せずに負けた、先制して勝ったが合わせて36試合中24試合で約7割だった。



しかし各スポーツによって結果は大きく異なるためスポーツによって先制点の大切さには違いがあると考えた。

部活動もプロも同じような数値となり、6~7割の試合で先制点と勝敗が関わっていると分かった。2つの調査から出した私たちの問いに対する答えは「スポーツによって先制点の大切さは異なる」ということだ。また一試合を通して決まる点数が少ないスポーツの方

が一転の重みが重く、先制点が大切だと考えた。

## 1 研究の目的

スポーツにおいて先制点が大切な時間帯を研究する。先制点をとることで勝率が高くなる時間帯とはいつだろう。先制点をとることで勝敗に関わりやすいスポーツは何だろう。そこで私たちは、試合を通して入る点数が少ないスポーツに目を付けた。私たちはサッカーや野球の2つの競技に絞った。サッカーや野球では、一試合を通して決まる点数が比較的少ないため先制点を取るとは試合に勝利するために大きな原動力となるのではないかと考えた。そして、「先制点は勝敗に関わるのか」という問いからさらに深く研究し各スポーツでの先制点の大切さを調査した。

## 2 研究の方法

先制点の有無、勝敗に加え、更に、5試合の中で、先制点を取った（取られた）時間、最終的なスコアなどを各部活に実験により調査をし、時間による先制点と勝敗の関係も調べることにした。

結果は、次の通りとなった。

### 女子サッカー部

	1 試合目	2 試合目	3 試合目	4 試合目	5 試合目
先制点	○	○	×	×	○
先制した時間	前半 24分	後半 17分	前半 21分	前半 19分	前半 14分
最終的な点数	3 - 0	1 - 0	2 - 2	0 - 3	4 - 1
勝敗	○	○		×	○

女子サッカー部の結果：一試合目は前半24分に先制点を取ることができ、3 - 0で勝利  
二試合目は後半17分に先制点を取ることができ、1 - 0で勝  
三試合目は前半21分に先制点を取られたが2 - 2で引き分け  
四試合目は前半19分に先制点を取られてしまい、0 - 3で敗北  
五試合目は、前半14分に先制点を取ることができ、4 - 1で勝利

女子サッカー部結果は上記のような結果になった。

女子サッカー部の実験結果から、先制点を取ったチームの方が勝率が高いということは前回に結果から分かったことだが、この結果の前半に先制点が決まっている試合に着目すると、多くの点差が開いていることから、先制点が早く決まるほど勝率が高くその後多くの点数が決まるのではないかと考えた。

#### 男子サッカー部

	1 試合目	2 試合目	3 試合目	4 試合目	5 試合目
先制点	×	×	×	○	×
先制した時間	前半 18分	前半 39分	前半 12分	後半 9分	後半 19分
最終的な点数	0 - 4	1 - 2	1 - 5	1 - 2	0 - 2
勝敗	×	×	×	×	×

男子サッカー部結果：一試合目は、前半18分に先制を取られてしまい、0-4で敗北  
 二試合目は、前半39分に先制点を取られてしまい、1-2で敗北  
 三試合目は、前半12分に先制点を取られてしまい、1-5で敗北  
 四試合目は、後半9分に先制点を取ることができたが、1-2で敗北

五試合目は、後半19分に先制点を取られてしまい、0-2で敗北  
 男子サッカー部の結果は上記のような結果になった。男子サッカー部の実験結果から、女子サッカー部と同じように、先制点を早く取られるほど点差が開いて敗北していると言える。

#### 野球部

	1 試合目	2 試合目	3 試合目	4 試合目	5 試合目
先制点	×	×	×	○	○

先制した時間	1回裏 2点	2回裏 2点	1回表 1点	1回裏 5点	1回裏 2点
最終的な点数	6 - 9	2 - 5	6 - 5	9 - 3	17 - 4
勝敗	×	×	○	○	○

野球部の結果：一試合目は、1回裏に2点先制され、6 - 9で敗北  
 二試合目は、2回裏に2点先制され、2 - 5で敗北  
 三試合目は、1回表に1点先制されたが、6 - 5で勝利  
 四試合目は、1回裏に5点先制することができ、9 - 3で勝利  
 五試合目は、1回裏に2点先制することができ、17 - 4で勝利

野球部の結果は上記のような結果になった。野球部の実験結果から先制した時間はほぼ1, 2回なので変わりはないが、先制したときの点数が多いほど最終的な点数が大きく離れるのではないかと考えた。

3つの部活動の結果を通して、先制点を取ることは大切なのはもちろん、先制点の取るタイミングとして、できるだけその試合の早い段階で先制点を取ることがその後の試合の流れにもいい影響を及ぼし、点差を広げて勝利することができると言えるのではないか。しかし、それは全ての試合に共通していることではなく、スポーツには先制点を取ることが必ず勝敗に関わるという定義はなく、その試合の最後まで試合結果はわからないというのがどの試合にも共通して言えることだと考えた。

また、実験結果より、サッカーの試合の中でも先制点を取る時間帯によっては先制点がそれほど優位なものとはならず、勝敗にも関わらないこともあるとも分かった。

野球については、先制点を取った方が勝率は高いが、野球はサッカーと比べて比較的多くの点数が決まることが多いため、一度に決める点数が多い方が、試合の流れをよくする、優位に立つことができると言える。

## 結論

この探求では、岩倉総合高校の女子サッカー部、男子サッカー部、野球部に先制点に関する実験を行い、調査、考察をした結果、先制点を取ることは多くの試合で勝敗に関わり、また試合の早い段階で先制することで点数差を開いて勝敗に関係させることができるということが分かった。そこから、この探究で立てた問いに対して、「多くの場合で先制点は勝敗に関係があり、かつ、早い段階で先制点を取ることでその後の流れに良い影響を及ぼし多くの点数を取ることができるため、ほとんどの場合で勝利することができる」ということが答えである。このことから、1試合を通して入る点数が少ないスポーツで、早い段階

での先制点が1番効果的だと考える。今回は1試合に決まる点数が少ないサッカーと野球に絞って実験を行ったが、他のスポーツでも実験をした方がより正確な結果が出ると思うので調べていきたい。

## 感想

研究の感想として、スポーツにおいて先制点は大切であるということは、勘づいていたけれど先制する時間によって勝率が違ってくるといことは今回の研究を通して、学ぶことができたのでこの探究が意味のあるものになったなと思った。また、今後スポーツをする際にも今回の探究で明らかになった結果を念頭に置き優位な展開でスポーツができるように心がけたり、今回の探究を生かしてスポーツに取り組みたい。

## 参考文献

・犬飼和志

競技スポーツにおける「流れ」の研究 - 競技スポーツに流れは存在するのか -

・坂本一晃 久条皓大 小尻智子

試合状況から戦況認識のための価値観共有議論促進システム